

令和6年度 第1回金沢大学理工学域公開臨海実習実施要項

1. 授業科目 公開臨海実習 1単位
実習タイトル「アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習」
2. 実施期間 令和6年8月21日（水）～23日（金）
【8月21日（水）11時金沢駅集合，8月23日（金）昼金沢駅解散】
3. 実施場所 金沢大学 角間キャンパス
連絡先
環日本海域環境研究センター 臨海実験施設
(震災の影響により、角間キャンパスに移動しました)
〒920-1192 石川県金沢市角間町
nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp
4. 対象学生 国公立大学理学部及び水産学部あるいは自然科学系の学部の生物学科又は生物学関連学科に在籍する学部学生。これ以外の学生は相談に応じます。
ただし、所属する大学あるいは学部によっては単位として認定されない場合がありますので、単位が必要な人は自分が所属する大学で確認してください。
5. 実習内容
金沢大学 環日本海域環境研究センターが面する九十九湾にはアカテガニが生息しています。アカテガニ(*Chiromantes haematocheir*) は、十脚目ベンケイガニ科に分類されるカニの一種であり、日本では本州から南西諸島までに分布し、海岸や川辺に多く生息しています。アカテガニは陸上生活に高度に適応していますが、成長過程（ゾエア期からメガロパ期を経て稚ガニまでの過程）において、一時的に海中で生活する必要があります。アカテガニは、一般的に7-8月の大潮（満月か新月）の夜、満潮の時間に合わせてメスが海岸に集合して、ゾエア幼生を放出します。九十九湾の海岸環境は、アカテガニの生息に適しており、ゾエア幼生の放出を観察可能です。そこで本実習では、アカテガニに着目して海岸環境の保全に関する実習を実施します。日帰りで能登に行き、磯観察、アカテガニ及びゾエア幼生の観察、乗船実習も計画しています。さらに、韓国の環境学の研究者を招聘して、韓国での最新の研究を聴講します。
6. 指導教員 鈴木信雄 教授，関口俊男 准教授，木谷洋一郎 准教授
協力教員 広島大学 豊田賢治 助教，韓国外国語大学 洪天祥 教授
7. 定 員 10名（原則先着順）
8. 申込期限 令和6年7月12日（金）必着
9. 応 募 参加希望者は、所属の学務係を通じて応募してください。
10. 選 考 8月上旬までに所属学部長及び本人に通知します。
(願書の連絡先欄には、携帯電話等の連絡をとりやすい番号を記入してください。)

11. 提出書類 (1) 特別聴講学生願書 (別紙様式)
(2) 所属学部長の推薦書 (様式任意)
(3) 学生教育研究災害保険に加入していることを証明するもの (コピー可), 又はこれに相当する傷害保険に加入していることを証明するもの (コピー可)。
(4) 実習等参加健康申告書・実習等参加同意書 (別紙様式)

【書類提出先】

金沢大学理工系事務部学生課教務係
〒920-1192 石川県金沢市角間町

(注) 郵送の際は, 封筒の表に「公開臨海実習参加申込書在中」と朱書してください。

12. 所要経費 (1) 宿泊費等 : 6,000円(2泊分)
食費 : 毎日の食事代
(2) 受講費
徴収しません。(公私立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。)

13. 携行品 寝間着 (ジャージでも可)。白衣は持ってきてもかまいませんが, 必須ではありません。手袋をして実験しますので, 白衣がなくても大丈夫です。その他, 健康保険証, 常備薬 等。コロナ感染防止対策として, マスクも持参してください。

また、宿泊施設の備品は以下の通りです。

洗面具 : フェイスタオル, バスタオル, ボディーソープ, 歯ブラシ,
リンスインシャンプー

室内品 : テレビ, 冷蔵庫, ティーサーバー, 目覚まし時計, ドライヤー

14. その他 (1) 8月21日 (水) の昼食は, 持参してください。
(2) 金沢駅から角間キャンパスまで, マイクロバスor公用車で送迎します。
(詳細は採用決定後に本人へ連絡します。)

15. 実習内容に関する問合せ先

金沢大学環日本海域環境研究センター 臨海実験施設 鈴木信雄
E-mail nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp